

2017

5

May
No. 290

三島みしや

福島県
大沼郡
三島町



三島町は、福島県の西部を流れる只見川沿いの小さな町です。優良な「会津桐」の産地として知られるほか、小正月の行事「サイノカミ」や、野山の材料で作る「編み組細工」などの伝統が受け継がれ、「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。

Mishima Town Public Relations

道と、人と、心を繋ぐ

三島大橋修繕代行事業が完成
(3ページに関連記事)

主な内容

伝統工芸士認定	2	健康で元気な毎日!	10
三島大橋修繕代行事業完成式	3	町史編さん室だより	11
保育所入所式・小中学校入学式	4	新規採用等職員紹介	12
まちの話題	5	宮下病院からのお知らせ	13
町民記者通信	8	情報配信	14~16
地域おこし協力隊活動報告	9	町長日記	16
図書のご案内	10		

編み組細工に新風

奥会津編み組細工伝統工芸士に
新たに2名が認定

Interview

こぼりちかこ
小堀千加子さん(西方)

もともと編み物などが好きで、地区の人にものづくり教室に誘われて編み組を始めました。それ以外にも仕事などを通じて工人さんや編み組細工に触れる機会が多く、それが刺激になって製作を続けていました。

一つの編み組細工が完成した時の喜びと、何にでもチャレンジする精神を忘れずに、これから伝統工芸士として活動していきたいです。



三島町から新たな伝統工芸士が認定されました。福田耕士さん(大谷)と小堀千加子さん(西方)が(一財)伝統的工芸品産業振興協会より奥会津編み組細工総合部門(ヤマブドウ)の認定を受け、4月14日に授与式が町民センターで行われました。式では青木基重奥会津編み組細工伝統工芸士会長のあいさつがあり、奥会津三島町編み組品振興協議会の五十嵐三美会長より認定証が授与されました。お二人は式の終了後に町長室を訪れ、認定について報告しました。



町長へ報告に訪れた福田さんと小堀さん

Interview

ふくだこうじ
福田耕士さん(大谷)

退職を機に、ものづくり教室に通って編み組を始めて、友達からの依頼を受けて作っていくうちに、きちんとしたものを完成させたいという気持ちが強くなって、それから本気で作ろうと思うようになりました。

伝統工芸士になって技法を伝えていく責任を感じていますが、今までと変わらず、一つひとつ真心こめて製作を続けたいです。



になることば

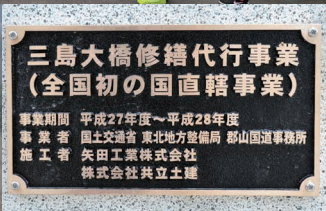
伝統工芸士

経済産業大臣が指定する伝統的工芸品の技術者で、高度の技術・技法を保持していることが(一財)伝統的工芸品産業振興協会に認定された人のことです。平成29年2月現在で全国225品目の伝統工芸品が指定され、4,102人の伝統工芸士が活躍しています。

三島大橋修繕代行事業

完成式

全国初の 国直轄修繕代行事業が完了



三島大橋修繕代行事業完成式は、4月17日に挙行されました。矢澤町長のあいさつの後、国土交通省東北地方整備局山田哲也道路部長、小熊慎司衆議院議員、菅家一郎衆議院議員が祝辞を述べました。

その後町長をはじめ、杉山純一県議会議長など来賓の方々がかくす玉を割り、完成を祝いました。また、開式前には三島小学校児童による鼓笛演奏があり、完成式に花を添えました。

市町村では対応が難しい道路施設を、国土交通省が管理者に代わって修繕する事業で、平成25年に制度化されました。三島町以外では高知県仁淀川町の大渡ダム大橋の修繕が採択されています。

になることば

直轄修繕代行事業

記念のくす玉が割られると同時に三島保育所の子どもたちが風船を空に放ち、完成を祝いました



少年消防クラブ結団式

三島小学校避難訓練および少年消防クラブ結団式は4月12日に行われました。避難訓練では地震によって火災が発生し、小学校にも延焼する可能性があるという想定のもと、迅速に行動しました。

結団式には、会津坂下消防署三島出張所の宮田直樹所長、町消防団の二瓶義徳団長が出席し、火災予防の決意を新たにしました。

幼年消防クラブ結団式

幼年消防クラブ結団式は4月21日に行われました。幼年消防クラブのみなさんが「おうちの人と協力しながら火事を起こさないよう気を付けます」と誓いの言葉を述べた後、会津坂下消防署三島出張所の宮田直樹所長より防火・防災の話を聞き、火災時の避難方法などについて勉強しました。



子どもも大人も、みんなで予防消防



三島町消防団春の防火パレード

三島町消防団防火パレードは4月9日に行われました。会津坂下消防署三島出張所と協力し、三島町消防団宮下班、間方班、大登班が車列をつくり、町内全域を回り火災予防を呼びかけました。

パレード終了後には幹部会が行われ、消防団員の辞令交付などが行われました。

三島町消防団春季検閲式

三島町消防団春季検閲式は4月23日に町民運動場で行われ、各団員は通常点検・機械器具点検・小隊訓練・分列行進について検閲を受け、はつらつとした動きを見せました。

近年、頻発する自然災害や火災への対応の要として、地域消防団の存在はますます重要なものとなっています。



三島保育所入所式 子どもの持つ可能性を大事に

三島保育所入所式は4月4日に行われ、きりん組（年長）3名、ぱんだ組（年中）4名、うさぎ組（年少）13名、りす組（未満児）6名の計26名が入所しました。子どもたちは一人ひとり名前を呼ばれると、元気いっぱい返事をしました。

五十嵐乃里枝所長は「子どもは親の思いを超えて成長します。お父さんお母さんと一緒に、入所した子どもたちの持つ可能性を大事に育てていきたい」と式辞を述べた後、「オリバーくん」という本を読み、子どもたちの入所を祝いました。

式の最後には、うた遊びがあり、保育所の子どもたちは元気いっぱいに歌い、新たな生活をスタートさせました。



三島小学校入学式 毎日元気に、笑顔であいさつ

三島小学校入学式は4月6日に行われ、男子2名、女子2名の計4名が入学しました。

新入生たちは名前を呼ばれると返事をして立ち上がり、教科書と黄色い帽子を受け取りました。渡部学校長は「毎日元気に学校に来てください。また、先生やお友達、お家の人の話をよく聞きましょう。そして、どんな人にも笑顔であいさつをしましょう」と新入生への3つの約束をして、式辞を述べました。

また、在校生から新入生を迎える言葉として、季節ごとの学校行事の紹介を行い、明るく楽しい学校生活の始まりを祝いました。



三島中学校入学式 希望と可能性を持って

三島中学校入学式は4月6日に行われ、男子6名女子6名の計12名が入学しました。新入生たちは緊張した面持ちで式に臨みました。佐藤昭校長は「中学課程終了後には自分で進路を決定することになります。その時のために目標をもって学校生活を送ってください。挑戦の中から夢を明確にし、個性や能力を伸ばしてほしい」と式辞を述べました。その後新入生を代表して渡部妃菜さん（荒屋敷が誓いの言葉を述べ、在校生を代表して星日代里さん（西方）が歓迎の言葉を述べました。



行政相談員を20年 小柴ヨシノさん（西方） 総務大臣感謝状



平成29年3月31日付けで行政相談員を退任した小柴ヨシノさんに、平成9年4月の任命以来、20年に及ぶ行政相談員活動に対し、総務大臣感謝状が、矢部勝彦福島県行政評価事務所長より贈呈されました。

献血100回 板橋健也さん（滝原） 金色有功賞を受賞



献血回数が100回を超え赤十字事業に多大な貢献をしたとして、板橋健也さんが日本赤十字社より金色有功賞として、賞状と記念品が贈られました。板橋さんは健康維持と社会貢献したいという気持ちから、50余年に渡り献血を続けてこられたそうです。

4月より行政相談員に 小松けい子さん（西方）

総務省では、三島町を担当する行政相談員として、平成29年度より小松けい子さんを委嘱しています。行政相談は、国の仕事をはじめ、年金事務所などの特殊法人等の仕事についての苦情や意見・要望を受け付け、町民の皆さんと関係行政機関との間に立って、その解決を促進するように相談に応じています。また、下記のとおり定例相談会を実施していますのでお気軽にご利用ください。

定例 相談会	日時 毎月第3水曜日 午前10時～午後3時 場所 三島町町民センター
-----------	---------------------------------------



行政相談員
小松けい子さん（西方）
電話 52-2660

自衛官募集相談員に 五十嵐豊一さん（西方）



自衛官募集相談員に五十嵐豊一さんを委嘱しました。委嘱状の交付は4月27日、役場で行われ自衛隊福島地方協力本部の松本課長の立ち会いのもと、矢澤町長から委嘱状が手渡されました。自衛官募集相談員は、自衛隊志願者に関する情報提供や、募集のための援助などを行います。

黄色い帽子が贈呈されました

4月6日の三島小学校入学式で新入生に、明るい社会づくり運動両沼地区協議会理事の馬場幸造さん（大登）から、黄色い帽子が贈呈されました。同会は交通事故から子どもたちを守るために帽子を毎年贈呈しています。ドライバーの皆さんは黄色い帽子を見かけたら、いつも以上に安全運転を心がけましょう。



三島小学校交通安全教室



三島小学校交通安全教室が4月11日に校庭で行われました。三瓶駐在所長より交通ルールについて指導してもらおうと、家庭の交通安全推進員の委嘱状を6年生の五十嵐望さんが代表で受け取り、委嘱状の内容を読み上げました。児童たちは歩く時と自転車に乗る時のルールの違いについて確認しました。

三島保育所交通安全教室

三島保育所交通安全教室は4月25日に行われました。保育所内で、会津坂下警察署末永文矢巡査の紙芝居による横断歩道の渡り方の説明がありました。その後、子どもたちは実際に宮下地区の道に出て、左右を確認しながら手を上げて横断歩道を渡り、安全な道路の渡り方を勉強しました。



有害鳥獣駆除員を委嘱



4月28日、佐藤好一さん（荒屋敷）を隊長として、下記12名を有害鳥獣駆除員に委嘱しました。

隊長	佐藤好一（荒屋敷）
隊員	二瓶政一（名入）、坂内澄男（西方）、阿部政敏（桧原）、大島昇一（浅岐）、菅家藤一（間方）、二瓶義徳（間方）、秦正信（大石田）、阿部通利（桧原）、海老名健（桧原）、青木正幸（荒屋敷）、小松信（西方）

霜にご注意ください

三島町防霜対策本部設置
5月31日（水）まで



農作物の霜害を未然に防ぐため、三島町防霜対策本部を設置し、霜注意報が出た場合、防災無線により町内一斉放送を行います。霜による被害が出た場合には役場産業建設課産業係までご連絡をお願いいたします。

有害鳥獣、防霜対策本部に関するお問合せ
役場産業建設課産業係 ☎（48）5566

万が一に備えて

文・写真 小島純さん(宮下)

3月26日、消防団宮下班で、地区の道路清掃を行いました。毎年行っているもので、新学期を迎えるにあたり、きれいな道路で登下校してもらおうと班員が朝から消防車や消火栓を使い放水、一年間たまった泥やごみを洗い流す作業に汗を流しました。また、荒屋敷の渡部ラジオ店の向かいに新たに消火栓が設置されましたが、近隣の住民の方々が、万が一の火災などに備え、消火栓の扱いを覚えたいと、自主的に消防団員の指導を受け、熱心に放水までの手順を繰り返し練習していました。



▲消火手順の練習の様子(宮下)

無火災・無災害を願う

文・写真 小島純さん(宮下)

4月11日、三島神社において平成29年度の宮下地区無火災祈願祭が執り行われました。町消防団、宮下地区、各事業所

の代表や地区住民らが集まり、青木基重宮司の祝詞の後、それぞれ神前に玉ぐしを捧げ、今年一年の町内の無火災、無災害、家内安全を願いました。



▲無火災祈願祭の様子(宮下)

滝原地区輪投げ大会

文・写真 佐久間絹江さん(滝原)

滝原地区では、冬期は毎週月曜日の午後1時30分から行われる、輪投げ大会でコミュニケーションを取っています。年明けから始まった輪投げも3月いっぱい一旦、終わりとなります。3月26日に行われた大会では、みなさん練習の成果を十分に発揮し、声をかけあい、笑い合いあいながら2ゲーム行いました。今回、見事パーフェクト(300点満点)が2人の方に出ました。「継続は力」ですね。大会終了後は、互いの成績をほめたたえ、弁当を食べながら歓談して、親睦を深めました。



▲輪投げ大会の様子(滝原)

春の観音講例祭

文・写真 佐々木邦雄さん(松原)

4月16日「観音講」を実施しました。会員の皆様が朝6時より境内の清掃、のぼり旗や本堂の飾りつけの準備をしました。午後1時より本堂内において例祭が始まりました。観音様への信仰により、日常生活の安泰や五穀豊穡、安産などを祈願し、感謝のご詠歌を歌いました。直会には、役員2名により大変美味い手料理が数多く出され、お茶を飲みながら世間話をし、健康長寿に感謝しながら和やかなひと時を過ごしました。



▲観音講例祭の様子(松原)

地区住民によるカタクリ整備作業行われる

文・写真 本名与四郎さん(西方)

4月16日の午前9時より西方地区大林公園において、カタクリさくらまつりに向けての整備作業が行われました。作業の前に、北館区長さんより、西方地区民となった、桐専門員の藤田旭美(ふじたあきみ)さんの紹介がありました。今年は、例年になく雪解けが遅く、カタクリの咲く山の斜面にも雪が残っていたために、雪の重みに耐えかねて折れた枝拾いが中心の作業となりました。前日までの雨も上がり、太陽と青空も顔をのぞかせ、作業日和となりました。



▲残雪の中での整備作業の様子(西方)

三島小でギフチョウの羽化観察会

文・写真 角田伊一さん(川井)

4月24日、三島小学校でギフチョウの珍しい羽化の観察会が



▲ギフチョウを熱心に観察する児童たち

開かれました。日本特産で、桜やカタクリの咲く季節にだけ姿を現す美しいギフチョウの姿を、ぜひ児童全員に見たいという校長先生や佐藤方信先生のはからいで、飼育しているギフチョウの蛹の羽化観察会を催すことができました。この日は日差しが強く、観察地の庭に準備された羽化ポットに越冬蛹を並べると、間もなく羽化が始まり、子どもたちの歓声が一斉に上がりました。その中には羽化の出来ない蛹や、羽が十分に伸びないギフチョウもいましたが、子どもたちは初めて見るギフチョウの美しさにうっとりした様子でした。「ギフチョウはカラフルなのに蛹はどうして黒いの」や「羽が伸びない原因はどうして」など、すごい質問をする児童もいて、他の児童たちも回答に熱心に聞き入るなど充実した時間を過ごしたようでした。

地域おこし協力隊活動報告

観光振興担当 館 美里(3年目)

Vol.2

こんにちは、地域おこし協力隊の館です。先日、役場から観光協会まで歩いて行こうとすると、保育所の子どもたちのお散歩に遭遇しました。一人ひとり「こんにちは！」と元気に挨拶してくれました。先生にお誘いいただき、一緒に宮下の通りを歩いて観光協会まで行くことに。元共栄産業では、「よつてがん処 夕市」の準備中。子どもたちは常連さんのようです。後でお母さんとお買いものに来ることを教えてくれます。手を繋いで歩いていると、通り沿いの方が子どもたちに手を振ってく

れます。なんだか通りが賑やかです。子どもたちは、道端にお花が咲いているのを見ついたり、つぼみもふくらんでいる様子を先生と観察したり、春を感じているようでした。短い散歩でしたが、とても癒される時間でした。

4月8日、会津鉄道AIZUマウントエクスプレス車内で、「会津17市町村ぐるっと！市町村長おすすめりレー」に参加しました。会津から日光へ旅行される乗客の方々に観光PR、特産品の販売を行い、多くの乗客の方が三島町のことを知る機会になったと感じます。



お散歩中の保育所の子ども達と一緒に歩いて観光協会へ



AIZU マウントエクスプレス車内で三島町のPRを行いました

山火事・事故等に注意しましょう

平成 29 年全国山火事予防統一標語

「火の用心
森から聞こえる
ありがとう」

山火事・事故防止のために

- ①タバコのポイ捨てはしない。
- ②火気を使用する場合は周囲の状況に注意し消火用の水を用意しておく。
- ③山火事が発生したら速やかに通報し避難すること。
- ④入山の際は予めルートを確認し、家族に行き先を伝える。
- ⑤天気予報に気を配り、防寒対策を徹底すること。無理な入山は控えましょう！

春先は枯草が地上に積もり下草が枯れているうえ、降水量も少なく空気が乾燥し季節風が吹くなど、林野火災が発生しやすい気象条件になっています。山火事は一度発生すると消火は容易でなく、一瞬にして貴重な森林を消失するとともに、その回復には長い年月と多くの労力を要することになります。とりわけ、これから暖かくなるにつれ、山に入る機会も多くなりますが、特に、空気が乾いている日や風が強い日には火の取扱いには十分な注意が必要です。1人でも多くの方に山火事予防運動についてご理解をいただき、火事の未然防止にご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

火災が発生した場合や発見した際には、無理に消火しようとせず速やかに119番通報してください。

火事・救急・救助は119番まで
会津坂下消防署三島出張所
電話 52-3032
FAX 52-3033

三島町保健推進員名簿
(平成 29 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日)

地区	氏名
宮 下	佐 藤 美智子
	細 堀 信 子
荒屋敷	鈴 木 優 子
	青 木 節 子
桑 原	二 瓶 美 和
	馬 場 晶 子
大 登	馬 場 光 子
	長谷川 洋 子
川 井	長谷川 ノブエ
	佐 藤 三枝子
桧 原	五十嵐 弘 子
	若 林 ハマ子
滝 谷	若 林 幸 代
	馬 場 秀 子
大 谷	諏 訪 典 子
	角 田 久 子
浅 岐	舟 木 富二子
	二 瓶 朋 子
間 方	二 瓶 由紀子
	山 垣 チヨエ
西 方	飯 塚 敦 子
	渡 部 益 美
大石田	二 瓶 範 子
	小 柴 実智子
名 入	横 田 ミチヨ
高清水	佐久間 絹 江
滝 原	佐久間 敏 子
早 戸	五十嵐 順 子

vol. 4

健康で元気な毎日！
町民課保健福祉係 ☎ 4 8 - 5 5 6 5



新保健推進員のみなさん
健康づくりのお手伝い

4 月 2 5 日、町民センターにおいて、平成 2 9 年度保健推進員会が開催されました。会長に馬場晶子さん（大登）、副会長には佐藤美智子さん（宮下）が選任され、事業の確認や担当分けが行われました。

保健推進員は、町の保健事業に参加・協力し、町民の皆様の健康づくりのお手伝いをさせていただきます。『健診を受けたいけど、どうしたらいいの？』『近所で具合が悪そうな人がいて心配。でも病院に行くように言いづらい』『健康のために運動をしたいけど、どんな運動をしたらいいの？』などなど…健康に関することなら何でも保健推進員さんにご相談ください。



三島町保健推進員のみなさん

図書のご案内

町民センターゆめぽけっと

下記の雑誌を毎月購読しています。
ひよこクラブ・たまごクラブ・
山と溪谷・オレンジページ・壮快・
Number

○利用時間

㊤～㊤ 午前 9 時～午後 9 時
㊤・祝日 午前 9 時～午後 5 時

○お休み

年末年始

問 公民館 ☎ (4 8) 5 5 9 9

●今月のおすすめ

『本を守ろうとする猫の話』

著者：夏川 草介

祖父が遺した古書店で本の整理をしていた高校生の林太郎はある日、人間の言葉を話すネコと出会う。ネコは本を守るために林太郎の力を借りたいのだという…。
本について改めて向き合える物語です。



●図書の紹介

題 名	著 者
かぼちゃひこうせんぷっくらこ	文 レンナート・ヘルシング 絵 スベン・オットー
本を守ろうとする猫の話	夏川 草介
そういう生き物	春見 朔子
蜜蜂と遠雷	恩田 陸

土地の呼び名と利用（浅岐地区）

町史編さん室だより

第 16 回

もし、ご家庭に古い文書などがありましたら、交流センター山びこまでご一報ください。
☎ (52) 2 1 6 5

浅岐は南から北に流れる大谷川の両岸に向かい合って家が建っています。また入山沢が大谷川に合流する場所となっています。この入山沢の右岸から尾根を越え柳津町黒沢に抜ける峠を新道峠といいます。今は管理が行われず藪（やぶ）となって、通る人はほとんどいません。

浅岐字出入口の諏訪寅司さん（昭和二年生まれ、故人）によると、コゴミ沢の新道峠を登った頂上の左（北）に一本松があり、その根元に山の神様のイシミヤ（石宮、石祠）があるといいます。この石祠は「トウゴ爺かクキジロウ爺が置いたもの」だそうです。「新道峠は狭いけれども、間方の菅家トオジさん、サカリさんが馬を牽（ひ）いて荷を運んだ」そうです。

また土用を過ぎると、コゴミ沢からモワダ（シナ皮）を採り、川に浸（ひ）け、皮が剥（は）かれるような頃合で引き上げ、縄（な）って縄にしました。

入山沢の左岸のクロシ沢にはクマ穴（深さ二、三メートルの縦穴）があり、諏訪寅八さん（寅司さんの祖父）は「熊の穴さ入ら

せられた。ロウソクを付けて、モワダで作った縄で下りたが、縄が途中で切れた」と語っていたそうです。人間が名付けた地名と、モワダ採りや熊獲りの記憶が結びついています。

入山沢の上流部には「トウゼエムガマ」「タロスケ」「シヨウキチクボ」「ブンロクガマ」「ゲンスケダイラ」「サンゾウナカセ」、大谷川の上流で浅岐集落の南西には「セイジュウコロバシ」「ロクゼエムガマ」「キヘイガマ」「割沢（ワンザア）」の上流には「ヤゴシチ」など人名と思われる名前が付いた場所が記憶されています。こういった地名により、炭焼きをした人の名前、何か事故が起きた場所などの記憶が後世に伝承されます。

割沢の語源となっているとも推察される「フネワンザワ（舟割沢）」という金山町沼沢との境界近くにある沢地名があります。沼沢の人たちが尾根のブナの木を切って舟を剥ぐ作業をしていたところ（民俗例では冬から春に残雪の上で行う）、浅岐側に舟を落としてしまったという伝承が残っています。

す。沼沢湖の水上利用のための舟だったのでしようか。

土地の呼び名（通称・地名）は、人間の行動領域を示す証拠であり、今後もできるだけいてねいに細かく調べていきます。

文 三島町史編さん専門委員 菅家 博昭



春の入山沢出口（奥の山が新道峠）

新規採用として3名、福島県との人事交流で1名の計4名が入庁しましたので紹介いたします



町民課 町民係

二瓶紀和

にへい のりかず

34歳 千葉県出身

4月から町民課町民係に配属になりました、二瓶紀和と申します。主に税務を担当させていただいています。

千葉県出身ですが、父の出身地である三島町に小学生の頃から何度も遊びに来ていました。

現在は西方地区に住んでいますが、分からないことばかりなので町民の皆様に教えていただきながら、大好きな三島町のために頑張りたいと思っています。

- ▼趣味Ⅱゴルフ・釣り
- ▼今年の目標Ⅱ貯金



三島保育所 保育士

尾形陽子

おがた ようこ

33歳 喜多方市出身

尾形陽子と申します。三島保育所で保育士として勤務させていただくこととなりました。

新たな環境で不慣れなこと、勉強不足なことなど多々ございますが、一日一日しっかりと学び、早く戦力になれるよう努めていく所存です。どうか皆様、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

- ▼趣味Ⅱ山登り・スポーツ
- ▼今年の目標Ⅱ少しずつ地域の皆様と心通えるよう努めてまいります。



産業建設課 建設係

三本松勇人

さんぼんまつ はやと

31歳 小野町出身

小野町出身の三本松勇人と申します。東京都内でシステムエンジニアとして勤務しておりましたが、風評の払拭や故郷福島のお役に立ちたいという思いから、この度三島町でお世話になることになりました。産業建設課建設係として、主に町営住宅や町道の管理を担当しています。町民の皆様が快適な生活ができるよう精一杯サポートします。

- ▼趣味Ⅱウォーキングなど軽い運動
- ▼今年の目標Ⅱマラソン大会に出場すること



町民課 保健福祉係

中根佑太

なかね ゆうた

27歳 千葉県出身

はじめまして、中根佑太と申します。福島県と三島町との人事交流で参りました。町民課保健福祉係で介護全般のお仕事をさせていただきます。

皆さんに早く顔を覚えていただけるよう、地域の集まりやイベントに積極的に参加したいと考えていますので、見かけた際は、ぜひお声掛けください。よろしくお願いいたします。

- ▼趣味Ⅱバスケットボール、スノーボード
- ▼今年の目標Ⅱ痩せる！将棋、読書

平成29年4月1日付 新規採用等職員を紹介します

平成29年度 県立宮下病院の 診療体制について



県立宮下病院長
浅野 宏

お願いいたします。

会津医療センターからは、今年度も多くの診療応援をいただき、下記のとおり診療科目を開設いたします（下記参照）。

「へき地医療拠点病院」として、「心ある医療」の実践を目指し、地域医療を堅守すべく努力して参ります。4月からは「愛ばんしよ外来」（次ページでお知らせ）も開設し、介護・医療などに関する相談や健康教室なども行っていくしますので、なお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

日頃より当院の病院事業に対して多くのご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、平成29年度宮下病院診療体制をお知らせします。今回の人事異動で牧匠医師が異動となり、本年度の当院常勤医師は4人の態勢となりましたが、引き続き医師の確保に努め、より質の高い医療の提供を目指して参ります。また、医師確保のため日頃より御尽力いただいております町村長様を始め、宮下病院等後援会の皆様に深く感謝申し上げますとともに、今後とも御高配賜りますようお願いいたします。

◎平成29年度の診療体制

診療科	開設曜日	医師名
内科	月～金曜日	科長 小山大輔 医長 五十嵐亮 医員 山元勝悟
	第2・4木曜日	（会津医療センター）講師 長谷川浩司
	第4火曜日	（会津医療センター）助手 星野弘尊
	金曜日	（会津医療センター）病院助手 牧匠
外科	月・火・木曜日	院長 浅野宏
	第2金曜日	（福島県立医科大学）医師
ペースメーカー外来 ※完全予約制	第2木曜日	（会津医療センター）講師 宗像源之
整形外科	毎週水曜日 ※1	（会津医療センター）准教授 岩渕真澄、助手 草野敬悟
心身医療・もの忘れ 外来※2	火曜日 ※3	（会津医療センター）准教授 国井泰人、助教 西郷佳世
耳鼻咽喉科	毎週月曜日	（会津医療センター）准教授 横山秀二、助手 小針健大
皮膚科	第1・3木曜日	（会津医療センター）准教授 鈴木重行

※1 第5水曜日は休診です。

※2 「心身医療・もの忘れ外来」について、初診の方は事前にお問合せ下さい。

※3 第3火曜日は休診です。

☎福島県立宮下病院 ☎0241(52)2321

志津倉山開きのお知らせ

○日 時
6月4日㊥ 午前7時30分 送迎バスにより出発
(予約制)

○集合場所
三島町町民運動場(国道252号沿い)
※登山口に駐車スペースはありません。
○特 典
志津倉山開き記念バッジ(先着300名様)ほか多数

※参加費に関する重要なお知らせ※
平成28年度より山開き運営費・登山道の整備費等を目的に参加費を設けております。
山開きを継続していくために皆様のご理解とご協力のほどをよろしくお願い申し上げます。
・参加費 大人500円 小人(中学生以下):無料

○送迎バス予約締切日
5月28日㊥

●三島町観光協会 ☎(48)5000



新緑の時期と重なる美しい志津倉山開きへ、ぜひご参加ください

宮下病院より 愛ばんしょ外来のお知らせ

宮下病院では、毎週木曜日「在宅療養生活支援外来(愛ばんしょ外来)」を行っています。

- ①病気や障がいを抱えて家で生活する方や、家族からの介護や生活についての相談窓口
- ②地域に住む方々の健康維持・増進、介護・疾病予防のための支援
- ③地域に住む方々が気軽に立ち寄れる交流場所の提供などを目的に、看護師、薬剤師、栄養士、リハビリスタッフが皆様の在宅生活のためのお手伝いをさせていただきます。

※無料ですので、お気軽にお越しください!

※相談コーナーでは、例えば……
「健康のことを考えたいけど、何をすればいいのかわからない」
「介護のコツを知りたい」
「話し相手が欲しい」
など、健康、介護、医療に関することについてご相談をお受けします。

月 日	内 容
5月18日㊥	・相談コーナー ・健康教室(午前11時30～正午) 【テーマ】 三島町住民の防災意識について ～命を守るために(平成28年の調査から)前編
5月25日㊥	・相談コーナー ・健康教室(午前11時30～正午) 【テーマ】 三島町住民の防災意識について ～命を守るために(平成28年の調査から)後編

※いずれも午前9～12時、午後1時～午後4時開催
宮下病院外来待合室で行います。

●宮下病院 ☎(52)2321

会津坂下警察署からのお知らせ

融資保証金詐欺にご注意!

本年すでに3件の被害を認知。今後被害の増加が懸念されます。

▽融資被害のケース

- ①事務所にFAXで「低金利」等と記載された融資案内が送信される。
- ②相手に電話すると書類が事務所に届く。
- ③書類に必要な事項を記入しFAXすると「お金を融資するので融資手数料を指定口座へ振り込んでください。」と電話連絡がくる。
- ④融資手数料を振り込むとさらに手数料を要求される。

▽個人融資のケース

- ①被害者がインターネットで融資先を探し「即日融資」等の広告を見つけ融資申込みメールを送信する。
- ②相手から電話連絡があり家族や親戚、勤め先などを聞かれる。
- ③さらに相手から「一度返済実績を作れば希望額の融資ができます。1万円をあなたの口座に振り込むので、利息を含めた5万円を指定口座に振り込んでください。」などと複数の口座にお金を振り込むよう要求される。
- ④相手から「1つの口座にお金が振り込まれていません。あなたが振込先を間違えたため、会社に被害が発生しました。再度振り込んでください。」など連絡があり繰り返しお金を要

社会福祉協議会より

町社会福祉協議会へのご寄附
(遺志によるもの)

渡部 譲 様(大 登)

◆心配ごと相談◆

5月18日㊥ 福寿草
午前9時30分から午前11時30分まで

●社会福祉協議会 ☎(52)3344

町からお知らせ

5月分納税のご案内

【納期限 5月31日】

▼国民健康保険税(第1期)

▼介護保険料(普通徴収)(第1期)

忘れずに納付ください。

●町民課町民係

☎(48)5555



求される。
⑤融資を断り返金を要求すると損害賠償を請求されたり、会社や子どもの学校に嫌がらせ電話が入る。



●福島県会津坂下警察署生活安全係

☎0241-(83)3451

街頭犯罪発生件数(平成29年3月31日)

区 分	管 内	三島町
空き巣ねらい		
忍び込み		
出店荒らし		
自動車盗		
自転車盗		
ひったくり	1	
街頭犯罪合計	1	0
全刑法犯	25	2

※全刑法犯には街頭犯罪以外(器物損壊、暴行、傷害、万引き、詐欺など)の犯罪発生件数が含まれます。
※右記発生件数は、平成29年1月1日からの累計数となっています。

町の人口と世帯(4月1日現在)

人口	1,689	増減	-16	出生	0
男	827		-7	死亡	2
女	862		-9	転入	7
世帯	778		-2	転出	21

③住民基本台帳による数値です。増減数は前月との比較、出生・死亡・転入・転出は前月1カ月間に届出のあった人数です。

はじめまして赤ちゃん



今月はおりました。

末永くお幸せに



今月はおりました。

お悔み申し上げます



渡部 幸子(88才・大登)

※掲載を希望する方もされない方も、各種手続き時に配布いたします『広報みしま掲載同意書』に記載事項を記入していただきます。

●総務課総務係 ☎(48)5511

第31回

たぎやままつり

作る人の手から

使う人の手へ

全国から工人 170 軒が集結!

平成 29 年

6月10日・11日

午前 9:00 ~ 午後 4:00 (最終日は午後 3:00)

会 場

福島県奥会津 三島町生活工芸館

同時開催

てわっさの里まつり【会場・三島町宮下地内】 / 山と木の市場【会場・三島町名入地内】
只見線復興記念写真展開催中【会場・三島町交流センター 山びこ内】

町長日記

～温故知新の思想～

No. 22

町を「元気」にすることは、地域住民相互の町づくりの理念であります。自ら地域を磨く住民が多くいる町の多様性を認める寛容性が必要です。その後に、町は定住するための産業の創出や住宅施策等を総括的に連動させながら考えても遅くはないと考えます。基本はこの三島で生きる誇りと挑戦が次の展開を拓いていくのだと考えています。

昭和49年から、都市と山村の住民の交流を通して自分の足元を再発見する「ふるさと運動」や、18地区の伝統文化を後世に残しながら地区の連帯感を高めてきた「地区プライド運動」。山里の地域資源を日常生活に活かしていく「生活工芸運動」から生まれた編み組細工は、国の伝統工芸品に指定され、工人まつりなどは、大きなイベントとなっております。今回、地方創生事業の重点事業として生活工芸村構想を展開していきます。また、人間の基本は健康であるという考えの基に「健康づくり運動」を各地区に健康を守る会を結成して、生活習慣病の克服と健康寿命を伸ばすために、食事・運動・健診を3つの柱として展開しております。「有機農業運動」は、消費者との交流や、集落における高齢者の役割や生活工芸運動や健康運動に参加して高齢者の健康の源をつくる農業再生運動でもあります。この5つの運動を時代に合わせていく事が山村に生きる地域再生であります。時代の風は山村に吹いています。

国立環境研究所等のお力をお借りしながら平成29年度再生エネルギー検討会(仮称)を立ち上げ、地域分散型再生可能エネルギーの可能性を探り、平成30年度の事業を目指したいと考えています。また、地域資源を活用し生態系を守る循環型山村を創るのは内発型産業の育成が大事であろうと考えています。今年度「桐専門員」を採用し、桐の再生にも取り組み、三島の会津桐としてのポテンシャルを上げ、桐植栽や管理を町民運動として、全国一の桐の里を目指していきます。

三島町長 矢澤 源成

■発行 三島町 ■編集 三島町役場 総務課

〒969-7511 福島県大沼郡三島町大字宮下字宮下 350 ☎0241 (48) 5511

■ホームページ http://www.town.mishima.fukushima.jp

■印刷 三洋印刷株式会社